



## 【日本初】英語の入口を国内最安水準で——日英バイリンガル運営のコミュニティサービス「カフェ英 Fanz」 提供開始

2026年1月30日（金）提供開始！英語に“興味・挫折・学習中”の全員へ——出会い×学び×挑戦が続く「英語の入り口」コミュニティサービスが誕生



カフェ英 Fanzの一部バイリンガル及びネイティブ講師

全国100店舗の提携カフェで英会話事業を展開するカフェ英会話株式会社(本社：東京都渋谷区、代表取締役 西川良輔)は、2026年1月30日（金）より、日本初（※1）の日英バイリンガル運営のコミュニティアプリ「カフェ英 Fanz」の提供(※2)を開始します。

### いま全ての人へ「英語の入口」を作るべき理由

#### ①訪日外国人観光客が過去最高水準/日本の現場が一気に国際化

2025年は訪日客が過去最高の約4,270万人(※3)消費額も約9.5兆円(※4)と報じられています。英語が必要になる場面は、空港・飲食・小売・観光地だけでなく、都市部の生活圏へも広がっています。

さらに、政府は2030年に訪日客6,000万人・消費額15兆円という目標を掲げています。英語が一部のビジネスパーソンだけのものではない時代が、現実に進んでいます。

## ②一方で、英語は“必要なのに伸びない”：日本の英語力は国際的に低位

EF英語能力指数（EF EPI）2025(※5)では、日本は123の非英語圏中で96位と報じられ、英語の話す力の底上げが社会課題として再び注目されています。「必要性は増えるのに、学習は続かない」——このギャップこそが、いま「入口」を再設計すべき理由です。

## ③学び直しが国家テーマに：個人のリスキリング支援は「5年間で1兆円」

政府は所信表明演説で、個人のリスキリング支援を5年間で1兆円(※6)規模に拡充すると明記しています。学び直しが“自己責任の努力”から「社会の投資」へと移っています。ただし、現実には、学習は「教材」よりも「続く環境」のほうが難しい。だからこそ、コミュニティ設計が重要と考えました。

## ④生成AIの普及で「翻訳できる」時代へ。だからこそ“話せる/伝わる”が価値になる

生成AI・機械翻訳の進化は、言語の壁を下げる一方で、語学や翻訳の需要構造を変えうることが議論されています。今求められるのは、単なる翻訳ではなく、「相手の意図を汲み、関係をつくり、場を回すコミュニケーション力」。その力は「人との実践」でしか育ちににくい。ここに、コミュニティ型英語学習の必然があります。

(※1)日英バイリンガル／ネイティブ運営で、語学×交流イベントを日次開催するハイブリッド型英語コミュニティサービスとして（当社調べ、2026年1月時点）

(※2)株式会社スタジアムのオンラインコミュニティプラットフォーム「FANTS」を使用

(※3)参照：[https://www.jnto.go.jp/news/files/20260121\\_1615.pdf](https://www.jnto.go.jp/news/files/20260121_1615.pdf)

(※4)参照：[https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02\\_00071.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_00071.html)

(※5)参照：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000068.000006252.html>

(※6)参照：[https://www.kantei.go.jp/jp/101\\_kishida/statement/2022/1003shoshinhyomei.html?utm\\_source=chatgpt.com](https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/statement/2022/1003shoshinhyomei.html?utm_source=chatgpt.com)

「カフェ英 Fanz」 開発コンセプト：英語学習の“入口離脱”をなくす仕組み



「カフェ英 Fanz」の特典の1つであるカフェ英会話の風景

「カフェ英 Fanz」開発コンセプトの一つは、「学びを、孤独にしない。」ことです。

英語学習は、（1）学ぶ環境がない、（2）続かない、（3）話す機会がない、（4）一人で抱え込む——という4つの壁でつまずきやすいと言われています。カフェ英 Fanzは、英語を“勉強するもの”から“日常で使うもの”へ変えるために、仲間とのつながり、実践の場、継続しやすい導線を一つに統合し、4つの壁を越えられるプラットフォームとして開発しました。

## コミュニティサービス「カフェ英 Fanz」が創り出す未来：英語を“社会インフラ”にする

カフェ英 Fanzが目指すのは、英語を「特別なスキル」から「誰もが日常で使える社会インフラ」へ変えることです。バイリンガルと気軽に話せる場、スポーツも楽しめる交流、学習レベルや目標に合わせて“自分に合う道筋”が見つかる設計により、興味がある人も、挫折した人も、勉強中の人も——安心して学び直せます。

毎日、同じ目標を持つ学習者がカフェで英会話を楽しみ、オンライン×オフラインのハイブリッドで全国へ拡張。観光・地域・職場の国際化が進むいま、言葉の壁を越えた出会いと挑戦を日常に実装し、個人の可能性と地域の活力を同時に底上げしていきます。

### 【コミュニティサービス「カフェ英 Fanz」概要】

**料金プラン**

オンラインとオフラインの両軸で英語を日常に形成するコミュニティ  
月額制のプランを3つ用意しました。

| LIGHT PLAN<br>(ライトプラン)   | BASIC PLAN<br>(ベーシックプラン)                             | TREASURE PLAN<br>(トレジャープラン)   |
|--|--|---|
| まずは気軽に仲間づくり・<br>英語をスタートしたい方                                      | 本気で話したい方・<br>ネイティブと交流したい方                            | 「学習・交流・出会い」<br>Fanzのいいところ<br>全て最大活用したい方   |
| <b>¥3,480/月</b>  | <b>¥6,980/月</b>                                      | <b>¥12,480/月</b>  |
| <a href="#">今すぐ始める</a>   | <a href="#">申し込む</a>                                 | <a href="#">申し込む</a>  |
| Fanzアプリ利用：オンライン交流<br>トークライブ視聴・参加<br>全国のカフェ英会話通い放題<br>(15,000円相当) | ライトプランの全機能<br>全国のカフェ英Native Group<br>通い放題(45,000円相当) | ベーシックプランの全機能<br>バイリンガルFanzクルーへの英語<br>学習相談又はプライベートオンラ<br>インレッスン (月1回)<br>英語学習やセミナー動画アーカイ<br>ブが見放題 (全コンテンツ)<br>講師陣との対面交流会無料参加(月<br>1回)<br><a href="#">限定グッズプレゼント→</a> |

コミュニティサービス「カフェ英 Fanz」プラン一覧

サービス名：カフェ英 Fanz（ファンズ）

提供開始日：2026年1月30日（金）

ダウンロード：App Store／Google Playで「FANTS」を検索しダウンロード後、アプリ内でコミュニティ「カフェ英 Fanz」を選択してアカウント登録



**料金プラン：**ライトプラン（月額3,480円税込）／ベーシックプラン（月額6,980円税込）／トレジャープラン（月額12,480円税込）

**公式サイト：** <https://cafeeikaiwa.jp/fanz>

## 代表コメント



言語を学ぶことは、新しい価値観と出会い、自分自身の可能性を広げることだと考えています。カフェ英会話は、英語を学ぶ“教室”ではなく、英語を使いながら人とつながり、安心して挑戦できる「場」を育ててきました。今回提供を開始するコミュニティサービス「カフェ英 Fanz」は、英語に興味がある人、過去に挫折した人、いま勉強中の人——すべての方がもう一度、軽やかに踏み出せる『英語の入口』です。バイリンガルとの会話や、スポーツを楽しむ交流、学習レベルや目標に合った道筋との出会いを通じて、楽しさと実用性を両立した学びを日常に実装します。子どもから大人まで、一人ひとりの挑戦を後押しし、その積み重ねが地域や社会の活力につながると信じています。これからも、出会いと語学の力で、人々の未来をより彩り豊かにする機会を創り続けてまいります。

代表取締役CEO 西川 良輔

## 会社概要

**会社名：**カフェ英会話株式会社

**代表者：**代表取締役 CEO 西川 良輔

**所在地：**〒150-6090 東京都渋谷区恵比寿4-20-4 恵比寿ガーデンプレイス グラススクエアB1

**設立：**2018年10月1日

**資本金：**500万円（資本準備金含む）

**事業内容：**サービス開始以来、累計20万人以上が利用する国内最大級(※7)の英会話サービスを展開。全国の提携カフェ100拠点でワンコイン（500円）から参加できる英会話イベント「カフェ英会話」をはじめ、ネイティブ講師と日本人参加者数名で学ぶ少人数制の「カフェ英 Native Group」、ネイティブ講師とのマンツーマンレッスン「カフェ英 Native Private」など、多様な学習スタイルに合わせたサービスを提供しています。

**URL:** <https://cafeeikaiwa.co.jp>

(※7)当社調べ（累計利用者数・提携拠点数等に基づく）

**報道関係者の皆様：本件に関する取材窓口**

カフェ英会話株式会社

コーポレートコミュニケーション室 広報 大林 大輔

TEL：090-7467-7034

E-mail: daisuke.obayashi@cafeeikaiwa.co.jp

---

カフェ英会話のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/32388](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/32388)

---

カフェ英会話株式会社

コーポレートコミュニケーション室 広報 大林 大輔

TEL：080-3929-8898

E-mail：daisuke.obayashi@cafeeikaiwa.co.jp